

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和2年 3月公表)

放課後等デイサービス野花

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境 体制 整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・各部屋の使う目的がはっきりしている。
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	83%	17%		・入職段階から有資格者がほぼであるが、さらに職員の各種研修参加の機会を設けており、専門性の向上に努めている。新たな資格（保育士等）の取得の後押しのための支援も行っている。 ・年齢層も幅広いため、様々な視点で見ることが出来る。 ・トイレ介助が出来る職員（男児）をフロアで分ける等工夫出来ている。
	3 事業所の設備等は子どもの障がいへの配慮が適切にされているか	67%	33%		・窓等の鍵にはもう少し配慮が必要。（物を落とす等） ・子どもがパニックになった際、落ち着けるスペースが設けられている。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	100%			・職員の日々の振り返りの中で、PDCAサイクルを意識した検討を行っている。また現場で日々子どもの対応をしている職員が支援計画の評価・反省及び次の支援目標の具体的な設定にも関わっている。 ・改善の余地はあるが、職員で行うように努めている。
	5 保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋がっているか	100%			・毎年行い結果をホームページにあげている。また運動会等の大きな行事を行った際は、次回に繋げるためのアンケート調査を実施している。
	6 この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋がっているか	83%	17%		・第三者として保護者の方より評価を頂いているが、外部の評価機関からの評価も考慮していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・法人外の研修にも積極的に参加させて頂いています。 ・県社協が行っている研修の他、不定期開催の自治体・学校の研修参加も積極的に薦めて下さる。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・数種類のアセスメントの様式を組み合わせで行っている。例：自閉傾向に関するもの・適応行動に関するもの・発達の偏りに関するもの・身体能力に関するもの等。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で行っている。 ・午前の時間に立案している。 ・午前中に皆で話し合い、行えている。 ・活動プログラムを職員全体で立案する時間を設けている。 ・今年から個別活動プログラムを全員でたてる事になり、案がたくさん出るのが良いと思った。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長や季節等も考慮してバラエティーに富んだプログラム構成になっている。同じものが定期的に繰り返されるという事は全く無い。 ・午前の時間にチームで話し合っている。 ・活動プログラムは、過去の物と新しい活動を取り入れながら行っている。 ・遊びの反復を意識しながらも、研修等で知り得た知識等から様々な活動の提供を心掛けている。 ・研修で得た遊びを入れる等、遊びの幅を広げている。また遊びの反復も行っている。 ・遊びの反復を行っており、1ヶ月に1～2回個別活動プログラムが重なる場合がある。
13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	100%			
14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	100%			
15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝の打ち合わせと活動プログラムの確認を行っている。 ・朝のミーティングで必ず行っている。 ・朝のミーティングにて毎日全員で確認をしている。
16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・帰りのミーティングでその度気付いた点等を共有している。 ・個別支援計画に反映されている内容に関しては別途振り返りを行っている。
17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・帰りのミーティングで、記録をしっかりとっている。 ・毎日、振り返りの時間を設け、記録をとっている。

適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%			・個別・集団での活動を組み合わせ、さらに社会スキル習得のための活動や生活スキル習得の助けとしての体験活動や余暇に繋がる活動を組み合わせながら子どもの成長に合わせて支援している。
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか	100%			・お迎え時に担当教員との情報共有を行い、連絡調整を徹底している。
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%			
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	83%	17%		
	24	支援困難なケースでは専門機関と連携し助言や研修を受けているか	100%			・医療機関や学校また相談支援との連携のもと支援を行うケースもある。
	25	利用者以外の子どもと関わる機会はあるか	17%	50%	33%	・事業所に外部の子ども達を招く機会はないが、お出かけの際には他の子ども達が多くいる場面での関わりはある。 ・公園等のお出かけ時に極めて稀に初対面の子と一緒に遊ぶ子どもはいる。 ・運動会では、ご兄弟との関わりがある。 ・年1回の運動会行事で、ご兄弟との関わり、お出かけ先で地元の子ども達と関わる機会がある。 ・公園への外出時等、その場で出会う事はあるが、機会が設けられているとは言い難い。 ・学校へ送迎の際、挨拶を子ども以外の他児とする等はある。
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	100%			・管理者が主に参加している。
27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・その日の様子や活動中の言動等、帰りの送迎時、日報には書ききれない細かな部分を伝えられるよう心がけている。	

保護者との連携	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年7セッションのペアトレを無料で開催している。 ・管理者が開催している。 ・毎年、ペアトレを組んでおり、希望する保護者の方を対象に行っている。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合（依頼があった場合）には、ご自宅への訪問での療育相談や、事業所内面談室での相談に応じ、緊急性の高い方は児童心療科（法人の協力医）に繋げたり、進学先への不安を受けた場合には、考慮出来る進路先の一覧と待機や受け入れ状況等の情報を提供している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・学習会の開催、成人の事業所の見学会や茶話会の開催等を通して『とっこ親の会』の活動を支援している。 ・親の会で研修を開いたり連携をしている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付担当を設けて、忌憚の無い意見を受け付ける姿勢を保つよう努めている。
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・お便りを毎月出しており、季節の情報や事業所での子どもの様子、研修の情報や「親の会」の情報や地域カフェの開催日程等を載せている。 ・月に1回のお便りを（内容を皆で確認）出している。 ・毎月のお便りで活動予定をスケジュール式で告知している。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーの使用を徹底したり、個人ファイルの取り扱いを複数人でチェックしている。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
保護者への説明責任等	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%	17%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年行っている運動会を公の体育館に行い、誰でも見学出来る体制を取っている。また法人運営の地域カフェでは近隣の全ての人が子どもと共に自由に飲食を楽しむ事が出来る。 ・行事とは違うが、地域カフェに招待もしくは来店される場合はある。 ・地域カフェがオープンした事によって、子どもと地域住民が交流を深める場が出来た事は良い点だと感じた。

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時及び個別の療育相談の場等で、各種マニュアルを保護者の方に開示している。職員には年間を通して全てのマニュアルを網羅を出来るように、事業所内の学習会で取り上げている。 ・定期的に会議で読み合わせをしている。 ・会議で読み合わせして内容を周知している。 ・会議にてマニュアルの読み合わせをしたり、取り組んでいる内容をお便りにて周知している。 ・4月から新しい職員も入社するので、改めて職員間で周知するのも良いと思った。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に防災担当が率先して、子ども達を交えた防災訓練を行っている。 ・毎年、日時を決めて訓練等を行っている。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止に向けての現場職員のセルフメンタルチェック（相互間・自己）や児童福祉現場における虐待の早期発見のための着目点の確認の研修を行っている。 ・上司からのレクチャーがある。 ・4月から午前中を使って、事業所内勉強会が行われるので、非常時の対応も周知、統一されていくと思う。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束（行動抑制）が必要と想定される子どもには、事前に保護者の方に説明を行い、同意のもと支援計画に載せ、行動抑制の3要素を満たす場合に危険な行動を止める事がある。その際の様子を記録する様式がある。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、該当する子どもが在籍していた際に、昼食やおやつへのアレルギー源の除去を行っていた。 ・現在、医師の指示書が出ている子どもが居ないため対応が無い。 ・食物アレルギーに該当する子どもの利用が無い。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット記録用紙への記入や当日の振り返り時の『気づき』の共有を行っているが、『事例集』と言えるような冊子に特別にまとめた状態ではない。 ・ヒヤリハット事例の様式はあるが、時々しか記入していない。定期的に話し合い、事故防止に繋がりたい。 ・あまり活用されていないのが現状…。もっと定期的に出し合って活用していきたい。

非常時等の対応	43	身体拘束を行った場合の必要な記録を取るための様式が用意されているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束マニュアルの周知は行われているが、身体拘束を行った後の記録方法は全員が行えるわけではない。
	44	遊具・施設等の安全点検を定期的に行い必要な措置がされているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日の子どもが退所した後、玩具や遊具の点検消毒を行っている。吊り遊具等に不具合が出たり、ロープの摩耗・伸び等が見つかった場合には修繕・交換を行っている。 ・定期的に点検の場は設けられていないが、気付いたら会議で共有し改善されている。 ・定期的に行うよう改善していきたい。